

### 引船使用基準（阪神港神戸区）

- (1) スラスタ非装備船に対する引船使用隻数・型の基準表 令和5年9月1日実施

本船（総トン数）	引船の型および隻数	備 考
3,000 トン未満	Ⅱ型 1 隻	専用船棧橋に着棧する時、又は新総トン数所有の多層甲板船は 2 隻
3,000 トン～10,000 トン未満	Ⅱ型 2 隻	
10,000 トン～40,000 トン未満	Ⅱ型 2 隻	
40,000 トン以上	Ⅲ型 2 隻又はⅡ型 3 隻	

(注) 引船は当時の配備状況により、また気象状況・本船の操縦性能、船型・バースの状況等により、隻数・型が増減することがあります。

- (2) バウスラスタ装備船に対する引船使用隻数・型の基準表 令和5年9月1日実施

本船（総トン数）	B/T 能力		引船の型及び隻数
	PS	KW	
3,000 トン未満	-	-	Ⅱ型 1 隻
3,000 トン～5,000 トン未満	標準 400	標準 294	Ⅱ型 1 隻
5,000 トン～7,000 トン未満	標準 600	標準 441	Ⅱ型 1 隻
7,000 トン～15,000 トン未満	800 以上	588 以上	Ⅱ型 1 隻
	800 未満	588 未満	Ⅱ型 2 隻
15,000 トン～25,000 トン未満	1,000 以上	736 以上	Ⅱ型 1 隻
	1,000 未満	736 未満	Ⅱ型 2 隻
25,000 トン～45,000 トン未満	1,200 以上	833 以上	Ⅲ型 1 隻
	1,200 未満	833 未満	Ⅲ型 1 隻・Ⅱ型 1 隻
45,000 トン～75,000 トン未満	1,400 以上	1,030 以上	Ⅲ型 1 隻
	1,400 未満	1,030 未満	Ⅲ型 1 隻・Ⅱ型 1 隻
75,000 トン以上	2,000 以上	1,471 以上	Ⅲ型 1 隻
	2,000 未満	1,471 未満	Ⅲ型 1 隻・Ⅱ型 1 隻

\*1 40,000 トン以上で船首、船尾にスラスタを装備する場合（B/T：バウスラスタ S/T：スターンスラスタ）  
 B/T 1,200PS 以上 S/T 1,000PS 以上の船： Ⅲ型 1 隻

B/T 1,200PS 未満 S/T 1,000PS 未満の船： Ⅲ型 1 隻・Ⅱ型 1 隻

\*2 引船の型 Ⅱ型：2,000PS～3,000PS 未満 Ⅲ型：3,000PS～4,000PS 未満

(3) 阪神港神戸区への 14,000TEU 級コンテナ船 (150,000GT 程度) の入出港時の安全対策  
神戸港における船舶の航行安全検討調査報告書

平成 31 年 3 月 (神戸海難防止研究会)

平均風速	10m/sec 以下	10m/sec を超え 12m/sec 以下
入港	3,600PS (2,648kW) 以上×2 隻	3,600PS (2,648kW) 以上×3 隻 (合計 10,000PS (7,355kW) 以上)
出港	3,600PS (2,648kW) 以上×2 隻	3,600PS (2,648kW) 以上×3 隻 (合計 10,000PS (7,355kW) 以上)

入出港に当たっては、上表に示すタグボートを配備することとし、そのときの風向、風速及びその変化の傾向、入港船のバウスラスターの能力、入出港時間帯等を考慮して船長と水先人が協議のうえ、必要に応じてタグボートの配備隻数または能力を増強する。

また、タグボート押し引き位置から 3 隻配備が難しいものもあることから、より大型馬力のタグボートを手配できる環境整備が望まれる。

(4) 特例としての引船使用基準

① 神戸製鋼KS-3 (平成 16 年 4 月 12 日)

総トン数 50,000 トン以上

ドラフトに関係なく

入港時 III型 2 隻+II型 1 隻

出港時 III型 2 隻